

大好き！絵本

初瀬 恵美



はなくそにんじゃ



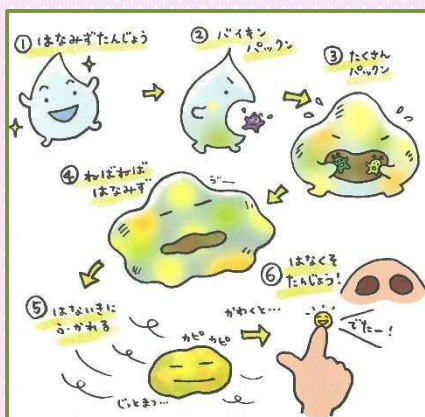
『はなくそにんじゃ』
作・絵：よしむら あきこ
出版社：教育画劇

今月の絵本紹介は『はなくそ忍者』。すごいタイトルですが、そのインパクトの大きさに興味を持ち注文してみました。すると「はなくそとは？」ということが、面白おかしく描かれていて、とても勉強になりました。

子どもたちはなぜか「はなくそ」「おなら」「うんこ」など、一般的に「きたない」といわれる言葉に敏感で、それを発しただけで大笑いということもしばしばです。

この絵本もタイトルだけで、大笑い。実際によんでみると、「はなくそ」に対するイメージが変わったのか、失笑のようなようなものはなくなり、でも「もう一回！」「もう一回！」が止まりませんでした。

この絵本の中で、「はなみずおばけ」が「なんで このまま はなみずで いたら いけないんだよう。はなくそって・・・くそって よばれたくないんだよおお」と泣き叫び出す場面があります。すると はなくそにんじゃが「なにを いうでござる！ はなくそは すごいのでござるよ！ むしろ がんばったものしか はなくそに なれないのでござる！！」と、はなくそができるまでを説明をしてくれました。（左図）この説明を聞いて、はなみずおばけは、はなくそになると決心します。



裏表紙



この絵本を初めて子どもたちと読んだ時の事です。読み終わって本を閉じたとき、裏表紙に左図の絵がありました。すると、4歳児の男の子が「あっ！ちょっと待って。表見せて。おんなじ・・・？あ、ちょっと違う」と裏表で見比べました。表紙も裏表紙も忍者の背景は、黒い丸い背景になっています。それを不思議に思い「これ、どこだろう？」と言いました。

比較しやすくするために、一番下のように開いて見せた瞬間「あ～鼻のあなだ～（笑）」と大笑い。私は全く気がつかないまま、絵本を開いたのでこの発見に驚くと同時に、おもしろいな～、子どもの観察力はすごいな～と思いました。

汚い手（ウイルス等が付着した手）で鼻をほじると、ウイルスが鼻の粘膜から体内に侵入して、病気にかかります。そんなんこともちょっと伝えながら、おもしろおかしく、「はなくそ」について親子で学んでみるのもよいかもしれませんね。



誕生日おめでとう

